



団体交渉の日程決定

今冬の具体的事象の解明と改善を求め交渉します!

申7号では、会社が毎年対策をしていると回答しつつも、必ず発生する倒木とビーム等からの落雪による前面ガラス破損について、例年通りの対応では防げないことから抜本的な対策を求めます。

申8号の事象は、マスコミにも大きく取り上げられ、新潟支社の冬期の体制・取り組みそのものが問われています。同事象を発生させないために交渉に臨みます!



申7号 今冬期に発生した倒木と落雪に関する緊急申し入れ

1. 倒木への列車衝突を発生させないよう早急に対策を講じること。
2. 乗務員又は前頭添乗している社員から申告された危険木などは直ちに伐採すること。
3. 橋梁からの落雪による前面ガラス破損を発生させない対策を講じること。
4. 2月28日までに書面にて回答すること。

申8号 信越本線444M東光寺～帯織間にて雪を抱えて停車した事象に対する解明申し入れ

1. 444Mの事象が発生した原因を明らかにすること。
2. 旅客救済に約15時間を要した原因を明らかにすること。
3. 記者会見で発表した今事象への対策が社員に説明されない理由を明らかにすること。
4. 2月28日までに書面にて回答すること。

◆団体交渉日程◆

2018年8月6日(月)10時00分より

